

～神経難病患者に対する緩和ケアに向けた取り組みの紹介～

緩和ケアとは？

「緩和ケア」というと、がんや終末期に必要なケアを連想する方も多いかもかもしれません。しかし本来、緩和ケアとは患者さんの身体的・精神的・社会的苦痛を和らげ、生活の質を高めていくプロセスであり、全ての病気の方に必要とされるものです。

当院では、神経難病患者さんの様々な症状や苦痛に対し、多職種が連携して介入できるように勉強会を重ね、2020年11月より緩和ケア委員会を立ち上げ、活動を行っています。

緩和ケアチームのメンバーは？

医師・看護師・薬剤師・リハビリなどの多職種で構成されたチームです。

どんなことを行っているの？

1、依頼のあった患者さんに、チームで介入します。

各病棟から、苦痛などの対応に困っている患者さんがいる場合、緩和ケアチームに介入の依頼が届きます。

月に2回、各病棟から依頼のあった患者さんに対して、緩和ケアチームによる回診を行っています。回診前にチーム間で、患者さんの情報を共有し合い、その後、患者さんのお部屋まで回診に伺います。



<患者さんのお部屋へ回診に行く前に、メンバー間で情報の共有を行います。>



<患者さんのお部屋へお伺いし、今苦痛に感じている事、不安な事などをお聞きします。その後、チームで話し合い、患者さんに合ったお薬の選択や、看護について話し合います。>

2、委員会を開催しています

月に1回、委員会を開催して患者の症状緩和に向けた意見交換や、勉強会などを行っています。多職種を含めたチームで患者さんの苦痛緩和に向けた話し合いを行うことで、身体的なアセスメントを行い、薬剤の検討、リラクゼーションの方法、家族との調整など複合的な対応ができるよう取り組んでいます。

これからの取り組み

緩和ケア委員会では、患者さんや、ご家族様の苦痛を軽減し、共に対応を考えていけるように活動していきたいと考えています。